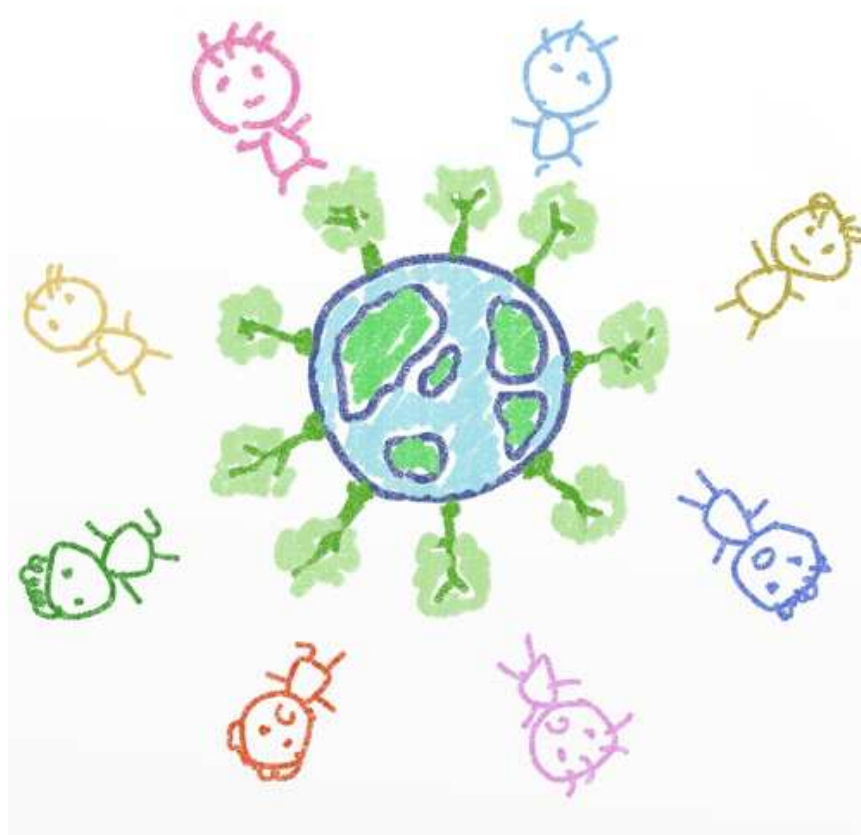


玉名市環境基本計画（案）

第2編 現状分析



平成31年2月

玉名市
環境整備課

第1章 自然共生社会に関する事項

第1節 土地利用について

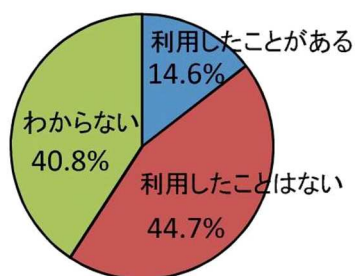
土地利用の変化は生物多様性に重大な影響を与えています。希少種は里地里山などが長い年月をかけて手を加え続けてきた環境に依存する種が多く、農地や山林が管理されなくなったり、開発されたりすることで生存が脅かされています。ここでは、地元産木材の利用、耕作放棄地、農地の宅地転用について報告します。

- ・希少種・・・一般的には、数が少なく、簡単に見ることができないような（希にしか見ることができない）種をさす。

◆ アンケート結果 ◆

(1) 地元産の木材を利用したことがありますか？

n=721

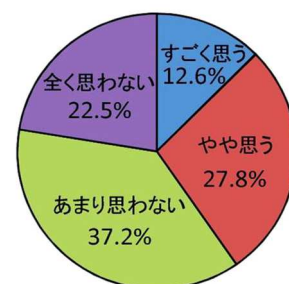


人工林の間伐は、下層植物の種構成を変え、昆虫の種数と個体数を増加させて、森林の生物多様性を短期的に高めることがわかっています（独立行政法人 森林総合研究所）。アンケート結果は「利用したことはない」44.7%がもっとも多く、「利用したことがある」14.6%の約3.1倍であり、次いで「わからない」40.8%でした。

(2) 休耕田を無償で貸し借りしてみたいと思いますか？

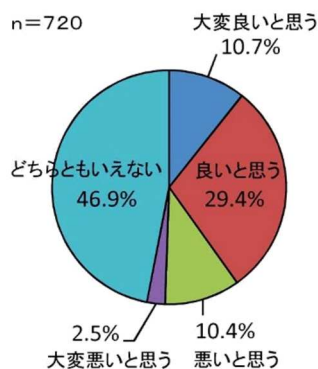
農業用水路や田んぼなどの豊かな生態系は、田んぼで米づくりが営まれることによって成り立っており、近年、これらの大切さが認識されています。アンケート結果は「あまり思わない」37.2%がもっとも多く、「全く思わない」22.5%と合わせた59.7%は、「やや思う」27.8%と「すごく思う」12.6%を合わせた40.4%の約1.5倍でした。

n=717



(3) 農地の宅地転用がさらに進むことについてどう思いますか？

n=720



農地は日本の国土のなかで重要な自然的要素であり、そこには多くの生物も生息しています。アンケート結果は「どちらともいえない」46.9%がもっとも多く、「良いと思う」29.4%と「大変良いと思う」10.7%を合わせた40.1%は、「悪いと思う」10.4%と「大変悪いと思う」2.5%を合わせた12.9%の約3.1倍でした。

◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市におけるスギ・ヒノキ林面積の推移

平成 25 年度から平成 28 年度にかけて、面積は変わりませんが、材の蓄積はスギ・ヒノキともに増加し、民有林に対する割合も増加しています。

	スギ		ヒノキ		民有林総数	
	H25	H28	H25	H28	H25	H28
面積 (ha)	398	396	110	110	2,583	2,575
民有林に対する割合 (%)	15.4	15.4	4.2	4.3	100.0	100.0
蓄積 (m ³)	173,985	177,511	39,515	40,634	491,795	496,833
民有林に対する割合 (%)	35.4	35.7	8.0	8.2	100.0	100.0

参考:「熊本県林業統計要覧」

(2) 玉名市における耕作放棄地面積の推移

耕作放棄地面積は年々増加し、経営耕地面積に対する面積（耕作放棄地率）は増加しています。

・耕作放棄地率＝耕作放棄地面積÷経営耕地面積×100

	経営耕地面積 (ha)	耕作放棄地面積 (ha)			耕作放棄地率 (%)		
		総農家	非農家		総農家	非農家	
H17	5,148	403	285	688	6.91	4.88	11.79
H22	5,136	439	334	773	7.43	5.65	13.08
H27	5,207	395	406	801	6.57	6.76	13.33

参考:「農林業センサス」

(3) 玉名市における農地の宅地転用面積の推移

5 年間の年平均転用件数は 184 件、年平均転用面積は 17.3ha であり、耕地面積は年平均 0.27% ずつ減少しています。

	H25	H26	H27	H28	H29	平均
耕地面積 (ha)	6,540	6,490	6,440	6,410	6,400	—
転用件数 (件)	220	204	163	155	178	184
転用面積 (ha)	15.6	20.9	17.1	10.7	22.4	17.3
耕地面積に対する割合 (%)	0.24	0.32	0.27	0.17	0.35	0.27

参考:玉名市農業委員会資料

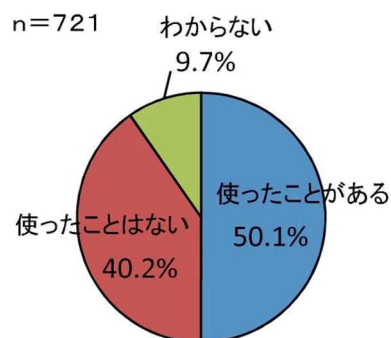
第2節 自然再生について

過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すことを目的とした自然再生推進法が、平成15年より施行されています。国や地方公共団体の計画に頼るのではなく、地域の多様な主体の発意により事業を始めることを最大の特徴としています。これまで積極的に活用されてきたとはいえません。ここでは、昔から利用されてきた竹、特徴的な水辺の生き物について報告します。

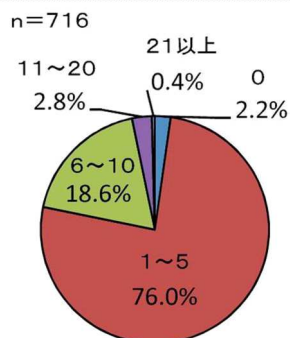
◆ アンケート結果 ◆

(1) 竹炭や竹酢液を使ったことがありますか？

外来種であるモウソウチクやマダケは産業に利用されなくなったことで生育地が拡大し、里山管理の脅威となっています。アンケート結果は「使ったことがある」50.1%がもっとも多く、「使ったことはない」40.2%の約1.2倍であり、「わからない」は9.7%でした。



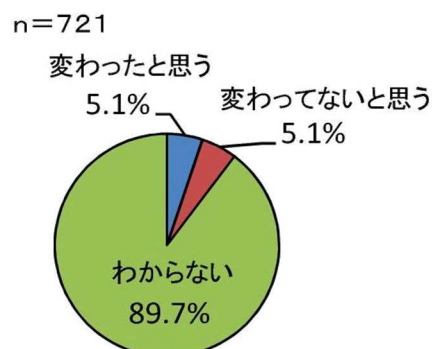
(2) 田んぼの生き物をいくつまで挙げることができますか？



桐谷圭治編（2010）田んぼの生きもの全種リスト（農と自然の研究所刊行）には、動物2,495種、植物2,146種、その他829種が掲載されています。アンケート結果は「1~5」76.0%がもっとも多く、「6~10」18.6%、「11~20」2.8%、「0」2.2%、「21以上」0.4%でした。

(3) モクズガニ（山太郎蟹）を炊いたときの色が昔と変わったと思いますか？

日本在来のモクズガニとの交雑の恐れもある特定外来生物チュウゴクモクズガニ（上海蟹）は、定着の実績はないが、2004年に東京湾奥部にて生きた成体の雌と死んだ成体の雌が発見されています（環境省自然環境局HP）。アンケート結果は「わからない」89.7%がもっとも多く、「変わったと思う」5.1%と「変わってないと思う」5.1%は同数でした。



◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市における竹林面積の推移

統計的には竹林の蓄積、面積ともに減少しています。しかし、兵庫県の調査では平成12年度時点の淡路島における竹林面積は同時期の統計上の竹林面積の5倍以上であったことなどから、本市においても実際の竹林の蓄積、面積は統計よりも多いことが予想されます。

	H25	H26	H27	H28
民有林面積(ha)	2,583.41	2,574.97	2,575.08	2,574.80
竹林蓄積(束)	152,998	152,322	152,306	152,306
竹林面積(ha)	155.58	154.86	154.84	154.84
民有林に対する割合(%)	6.02	6.01	6.01	6.01

参考:「熊本県林業統計要覧」

(2) 菊池川の希少淡水魚(絶滅危惧ⅠA類)

コイ科淡水魚のタナゴ類が2種(セボシタビラ、ニッポンバラタナゴ)、有明海特産で汽水域に生息するシラウオ類が1種(アリアケヒメシラウオ)該当しています。

セボシタビラ	ニッポンバラタナゴ	アリアケヒメシラウオ
写真	写真	写真

参考:国土交通省「河川環境データベース」

(3) 菊池川の外来植物(特定外来生物)

南米原産の多年生抽水植物であるナガエツルノゲイトウ、オオフサモ、ブラジルチドメグサ、河川敷や堤防では北米原産の多年草であるオオキンケイギクが定着しています。

・抽水植物・・・水生植物のうち、水底に根を張り、茎の下部は水中にあるが、茎か葉の少なくとも一部が水上に突き出ているものをいう。

ナガエツルノゲイトウ	オオフサモ	ブラジルチドメグサ	オオキンケイギク
写真	写真	写真	写真

参考:国土交通省「河川環境データベース」

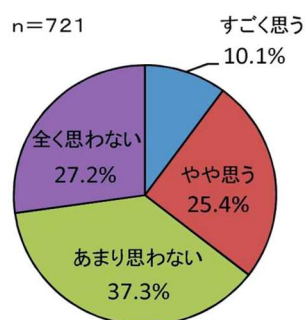
第3節 生態系サービスについて

生物多様性はそれ自体も価値を有していますが、多様な生物に支えられた生態系は、私たち人類に多大な利益をもたらしており、これを生態系サービスといいます。ここでは、食料や水などの供給サービス、洪水制御などの調整サービスについて報告します。

- ・生態系サービス・・・生物・生態系に由来し、人類の利益になる機能（サービス）のこと。国連の評価では、供給サービス、調整サービス、文化的サービス、基盤サービスに分類している。

◆ アンケート結果 ◆

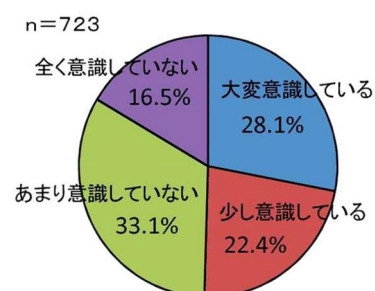
(1) イノシシを食べてみたいと思いますか？



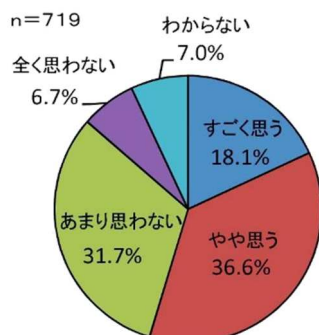
イノシシの分布域が拡大し、生態系や農林業に被害を及ぼしています。一方で、ジビエとしての利用も全国的に広まっています。アンケート結果は「あまり思わない」37.3%がもっとも多く、「全く思わない」27.2%と合わせた64.5%は、「やや思う」25.4%と「すごく思う」10.1%を合わせた35.5%の約1.8倍でした。

(2) 玉名産の米を意識して食べていますか？

水田は日本人の主食である米を供給するだけでなく、洪水防止や地下水涵養などの重要な機能をもっています。アンケート結果は「あまり意識していない」33.1%がもっとも多く、「大変意識している」28.1%と「少し意識している」22.4%を合わせた50.5%は、「あまり意識していない」33.1%と「全く意識していない」16.5%を合わせた49.6%とほぼ同数でした。



(3) 雨水を利用したいと思いますか？



雨水を貯留して植栽空間などで利用することで、大雨時の河川の流量を低減させる効果があります。アンケート結果は「やや思う」36.6%がもっとも多く、「すごく思う」18.1%と合わせた54.7%は、「あまり思わない」31.7%と「全く思わない」6.7%を合わせた37.4%の約1.5倍であり、「わからない」は7.0%でした。

第2章 低炭素社会に関する事項

第1節 地球温暖化について

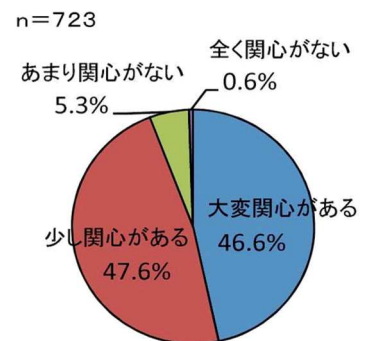
パリ協定を着実に実施するためには、民間企業、地方自治体、NGO や市民社会をはじめとする様々な担い手（非国家主体、non-state stakeholder）の役割が重要であることが、パリ協定やCOP決定において言及されています。ここでは、地球温暖化についての意識や本市における影響、市民や企業の取り組みについて報告します。

- ・パリ協定・・・第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）が開催されたパリにて、2015年12月12日に採択された、気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定（合意）。
- ・COP・・・気候変動枠組条約に基づく締約国会議。

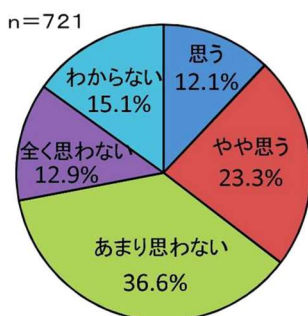
◆ アンケート結果 ◆

（1）地球温暖化の問題について関心はありますか？

地球温暖化とは、人の活動に伴って発生する温室効果ガスが大気中の温室効果ガスの濃度を増加させることにより、地球全体として、地表、大気及び海水の温度が追加的に上昇する現象をいいます。アンケート結果は「少し関心がある」47.6%がもっとも多く、「大変関心がある」46.6%と合わせた94.2%は、「あまり関心がない」5.3%と「全く関心がない」0.6%を合わせた5.9%の約16倍でした。



（2）地球温暖化が進んでも生活していけると感じますか？

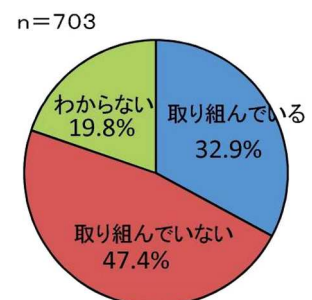


気温上昇による農作物への影響や、過去の観測を上回るような短時間強雨、台風の大型化などによる自然災害、熱中症搬送者数の増加といった健康への影響などが懸念されています。アンケート結果は「あまり思わない」36.6%がもっとも多く、「全く思わない」12.9%と合わせた49.5%は、「やや思う」23.3%と「思う」12.1%を合わせた35.4%の約1.4倍であり、「わからない」は15.1%でした。

（3）地球温暖化を緩和するために何か取り組んでいますか？

無駄なエネルギー消費の削減は、家計を助けることにもつながります。しかし、家庭によりエネルギーの使い方は異なるため、どの対策が効果的であるかも家庭によって異なります。アンケート結果は「取り組んでいない」47.4%がもっとも多く、「取り組んでいる」32.9%の約1.4倍であり、「わからない」は19.8%でした。

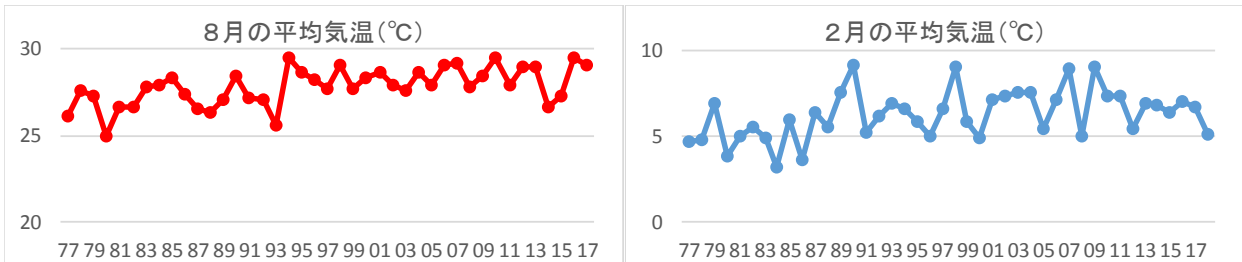
家庭での取り組みで多かったのは、節電、ごみの分別や減量化、太陽光パネルの設置、エアコンの温度設定、省エネ対策などでした。



◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市における月平均気温の推移

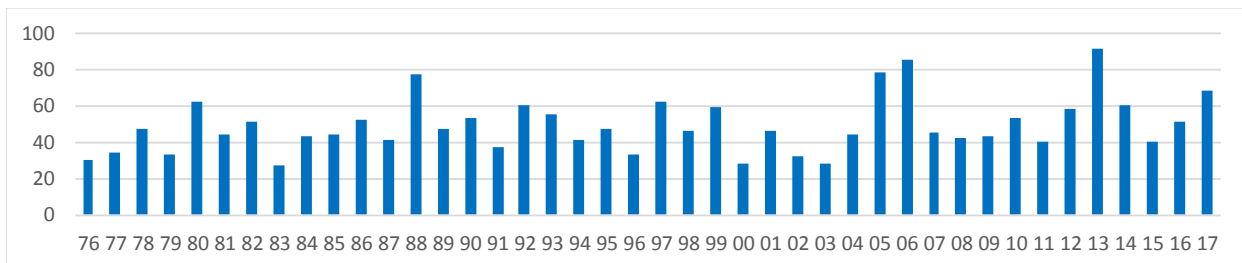
8月の平均気温は上昇しているようですが、2月の平均気温ははっきりしません。



参考: 気象庁岱明観測所データ

(2) 玉名市における1時間降水量の月最大値の推移

1時間降水量の月最大値は徐々に増加しています。



参考: 気象庁岱明観測所データ

(3) 玉名市におけるEMS (ISO14001、エコアクション21) 導入企業の割合

従業者数10人以上の事業所数に対するISO14001認証事業所の割合は2.39%、エコアクション21の環境経営レポートを公表している事業所の割合は0.37%とわずかしかありません。

- ・ISO14001・・・国際標準化機構 (ISO) が発行した環境マネジメントシステムに関する国際規格 (IS) 群の総称。
- ・エコアクション21・・・環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム (EMS) です。

ISO14001	エコアクション21
各認証機関で認証された事業所の割合 (平成30年10月現在) = 13 / 545 ※ ≒ 2.39% ※ 従業者数10人以上の事業所数 (H29年度)	環境経営レポートを公表している事業所の割合 (平成30年11月現在) = 2 / 545 ※ ≒ 0.37% ※ 従業者数10人以上の事業所数 (H29年度)

参考: 日本適合性認定協会HP

参考: エコアクション21中央事務局HP

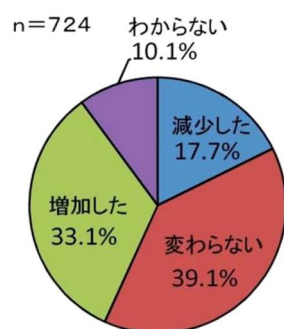
第2節 エネルギーについて

地球温暖化対策は、エネルギー起源のCO₂排出量の削減と言い換えることもできます。人為的な温室効果ガス排出の多くはエネルギー起源であり、わが国における温室効果ガスの約9割はエネルギー起源の二酸化炭素となっています。ここでは、家庭の電気使用量や電力自由化、自然エネルギー、経済循環について報告します。

・温室効果ガス・・・

◆ アンケート結果 ◆

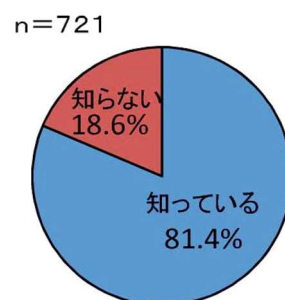
(1) 自宅の電気使用量は5年前と比べてどう変化しましたか？



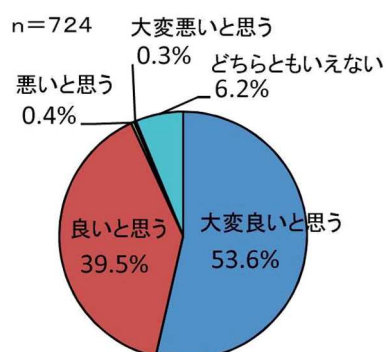
家庭のエネルギー消費をエネルギー源別に見てみると、シェアの大きいのは電気で50%以上を占めており、1965年度と比較して大幅に増加しています（資源エネルギー庁「エネルギー白書 2013」）。アンケート結果は「変わらない」39.1%がもっとも多く、「増加した」33.1%は「減少した」17.7%の約1.9倍であり、「わからない」は10.1%でした。

(2) 2年前から電力会社を選べるようになったことを知っていますか？

「電力の小売全面自由化」により、様々な事業者が電気の小売市場に参入してくることで、新規参入の会社を含めた電力会社の選択が可能になりました。再生可能エネルギーを中心に電気を供給する事業者から電気を買うことも可能です。アンケート結果は「知っている」81.4%は、「知らない」18.6%の約4.4倍でした。



(3) 自然エネルギー（太陽光、風力、地熱など）についてどう思いますか？



自然環境を活かした再生可能エネルギーは、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーです。アンケート結果は「大変良いと思う」53.6%がもっとも多く、「良いと思う」39.5%と合わせた93.1%は、「悪いと思う」0.4%と「大変悪いと思う」0.3%を合わせた0.7%の133倍であり、「どちらともいえない」は6.2%でした。

◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市におけるエネルギー代金の流出額

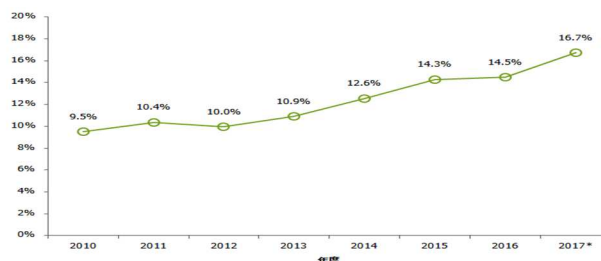
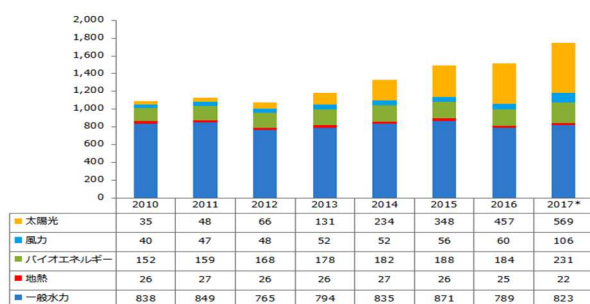
2013年の総生産は1,659億円ですが、移輸入1,488億円のうち約99億円がエネルギー代金として市外に流出しています。また、エネルギー代金のうち約15億円が電気料です。

玉名市総生産(／総所得／総支出)	そのうちエネルギー代金の流出額
合計1,659億円の内訳(支出面) ・消費:1,890億円 ・地域収支:△591億円 =移輸出897億円－移輸入1,488億円 ・投資:360億円	合計約99億円の内訳 ・石炭・原油・天然ガス:約4億円 ・石油・石炭製品:約74億円 ・電気:約15億円 ・ガス・熱供給:約6億円

参考:環境省「地域経済循環分析(2013年データ)」

(2) 全国の発電量に占める自然エネルギー割合の推移

全国の発電量に占める自然エネルギーの割合は増加しており、太陽光発電が目立って増加しています。



参考:自然エネルギー財団HP(2018.9.27更新)

(3) 玉名市における再エネ発電施設の導入状況

太陽光発電施設しかなく、風力、水力、地熱、バイオマス発電施設はまったく導入されていません。

	太陽光		風力	水力	地熱	バイオマス
	10kW未満	10kW以上				
導入件数(件)	2,679	1,056	0	0	0	0
導入容量(kW)	13,338	44,225	0	0	0	0
導入1件当たり容量(kW)	4.98	41.88	—	—	—	—

参考:資源エネルギー庁(H30年3月現在)

第3節 交通手段について

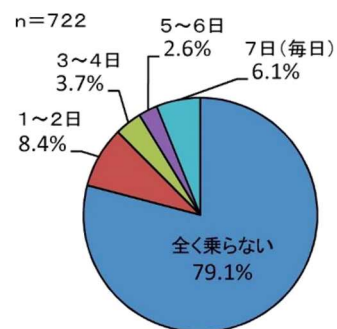
都市を低炭素化するためには、都市機能をコンパクトに集約し、それと連携して徒歩や自転車、公共交通を利用促進することが有効です。ここでは、人口集中地区、自転車や公共交通の利用、自家用車の保有について報告します。

・都市の低炭素化・・・

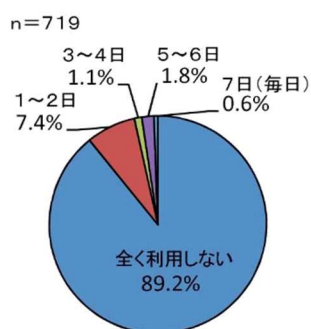
◆ アンケート結果 ◆

(1) 週に何日くらい自転車に乗りますか？

自転車は、健康に良く、地球温暖化対策にも役立つ移動手段です。アンケート結果は「全く乗らない」79.1%がもっとも多く、「1～2日」8.4%と「7日（毎日）」6.1%と「3～4日」3.7%と「5～6日」2.6%を合わせた20.8%の約3.8倍でした。



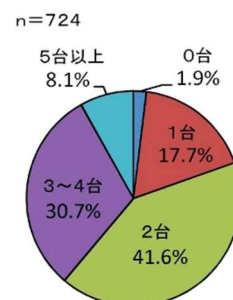
(2) 公共交通（バス、JR等）を週にどの程度利用しますか？



2030年度に2013年度比26%減のCO2排出削減目標の達成のためには、運輸部門からのCO2排出量を3割削減する必要があり、自動車からの転換が不可欠です。アンケート結果は「全く利用しない」89.2%がもっとも多く、「1～2日」7.4%と「5～6日」1.8%と「3～4日」1.1%と「7日（毎日）」0.6%を合わせた10.9%の約8.2倍でした。

(3) 家族でマイカーを何台保有していますか？

家庭からのCO2排出量の2割以上が、自動車の使用によるものです（2016年度温室効果ガスインベントリオフィス）。アンケート結果は「2台」41.6%がもっとも多く、「3～4台」30.7%と「1台」17.7%と「5台以上」8.1%と合わせた98.1%は、「0台」1.9%の約52倍でした。



◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市におけるD I D人口密度の推移

D I D人口密度は一貫して 40 人/ha を下回っています。

- ・ D I D・・・人口集中地区 (Densely Inhabited District) の略で、国勢調査において設定される統計上の地区。人口密度が 40 人/ha 以上の基本単位区が互いに隣接して人口が 5,000 人以上となる地区に設定される。

	H7	H12	H17	H22	H27	H7~H27 増加率(%)
DID面積(ha)	310	316	341	353	323	4.19
DID人口(人)	10,983	11,197	12,796	12,602	11,740	6.89
DID人口密度(人/ha)	35.4	35.4	37.5	35.7	36.3	2.59

参考：総務省「国勢調査」

(2) 玉名市における公共交通（路線バス、乗合タクシー）利用者数の推移

平成 25 年から平成 29 年にかけて、路線バスの輸送量は約 14%減少しました。一方で、乗合タクシーの輸送量は、輸送量全体に占める割合は少ないですが、150%近く増加しています。

- ・ 乗合タクシー・・・市内で運行しているみかんタクシー、しおかぜタクシー、いちごタクシーの合計。

	H25	H26	H27	H28	H29	H25~H29 増加率(%)
路線バス輸送量(人)	942,149	912,066	852,715	824,907	811,301	-13.89
1日当たり輸送量(人)	2,581	2,499	2,336	2,260	2,223	-13.89
乗合タクシー輸送量(人)	7,725	16,508	18,596	19,909	19,248	149.17
1日当たり輸送量(人)	21	45	51	55	53	149.17

参考：玉名市資料

(3) 玉名市における自家用車登録台数の推移

乗用車が減少する一方で、軽乗用車は増加しています。また、自家用車全体ではわずかに増加しています。

単位：台

	貨物	乗合	乗用	特殊	軽自動車		合計
					乗用	貨物	
H28.3	3,036	93	20,485	575	18,421	8,773	51,383
H29.3	3,027	91	20,299	562	18,802	8,661	51,442
H30.3	3,038	93	19,940	552	19,977	8,584	52,184
増加率(%)	0.07	0.00	-2.66	-4.00	8.45	-2.15	1.56

参考：九州運輸局HP、玉名市資料

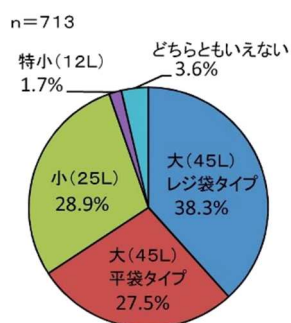
第3章 循環型社会に関する事項

第1節 廃棄物について

循環型社会とは、廃棄物等の発生抑制、循環資源の循環的な利用及び適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会のことです。ここでは、市指定ごみ袋、プラスチックごみ、一般廃棄物、コンテナ回収について報告します。

◆ アンケート結果 ◆

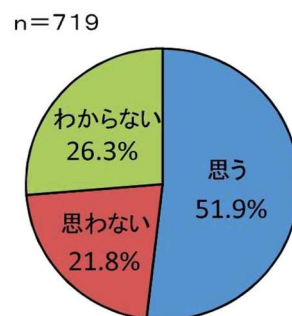
(1) もっとも使用する市指定ごみ袋はどれですか？



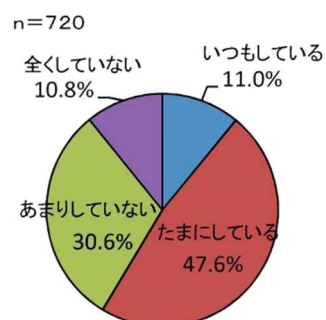
ごみ量を削減するためには、使い捨て製品の使用の自粛や、リターンブル容器を用いた製品を選択するなど、生活様式を見直すことが必要です。アンケート結果は「大(45L) レジ袋タイプ」38.3%がもっとも多く、「大(45L) 平袋タイプ」27.5%と合わせた「大(45L)」は65.8%であり、「小(25L)」28.9%、「特小(12L)」1.7%、「どちらともいえない」3.6%でした。

(2) すべてのプラスチックは燃やすとダイオキシンが発生すると思いますか？

ダイオキシン問題が社会問題化した当時は、廃プラスチックの燃焼とダイオキシンが関連しているとの一般的風潮がありました。実際には燃やすものが何であるかよりも、燃焼管理や排ガス処理の方がはるかに重要です(中央環境審議会「プラスチックの取扱いについて」)。アンケート結果は「思う」51.9%がもっとも多く、「思わない」21.8%の約2.4倍であり、「わからない」が26.3%でした。



(3) 買い物の際に、プラ容器に入っていないものを選んだり、レジ袋をもらわないよう心がけたりしていますか？



イギリスでは、2042年までに不要なプラスチック廃棄物をゼロにする計画を公表しました。アンケート結果は「たまにしている」47.6%がもっとも多く、「いつもしている」11.0%と合わせた58.6%は、「あまりしていない」30.6%と「全くしていない」10.8%を合わせた41.4%の約1.4倍でした。

◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市指定ゴミ袋卸売量の推移

小（25L）以外のごみ袋及び粗大ごみシールは卸売量が増えています。また、ごみ袋の種類別割合は、大（45L）がもっとも多い5割以上を占めています。

単位：枚

	大 (45L)	小 (25L)	特小 (12L)	粗大ごみ シール	ごみ袋全体に占める割合(%)		
					大	小	特小
H27	1,604,540	1,211,560	154,730	7,837	54.0	40.8	5.2
H28	1,694,740	1,281,950	177,200	8,934	53.7	40.6	5.6
H29	1,934,380	1,194,070	166,300	10,167	58.7	36.2	5.0
増加率(%)	20.56	-1.44	7.48	29.73	8.70	-11.13	-3.09

参考：玉名市資料

(2) 玉名市における一般廃棄物処理量の推移

可燃ごみの割合がもっとも多く、8割台を推移しています。

単位：t

ごみの種類	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	有害ごみ	粗大ごみ	合計	可燃ごみの 割合(%)
H25	14,982	426	1,281	20	322	17,032	88.0
H26	15,269	407	1,254	18	330	17,279	88.4
H27	15,091	440	1,990	14	443	17,978	83.9
H28	14,909	500	778	20	574	16,780	88.8
H29	15,387	505	1,196	21	98	17,207	89.4

参考：玉名市資料

(3) 玉名市におけるコンテナ回収量の推移

平成25年度と平成29年度を比較すると、資源ごみ全体は減少し、コンテナ回収量、全体に対する割合ともに減少しています。

	H25	H26	H27	H28	H29	H25～H29 増加率(%)
資源ごみ全体(t)	1,669	1,595	2,352	1,109	1,501	-10.05
うちコンテナ回収(t)	388	341	362	331	305	-21.34
全体に対する割合(%)	23.2	21.3	15.4	29.8	20.3	-12.55

参考：玉名市資料

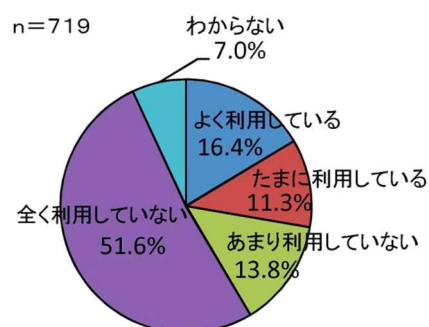
第2節 循環資源について

3R（スリーアール）は、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための3つの取組みの頭文字をとったものです。3Rは、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）の順番で取り組むことが求められています。ここでは、コンテナ回収やリサイクル、生ごみや廃食油の利活用について報告します。

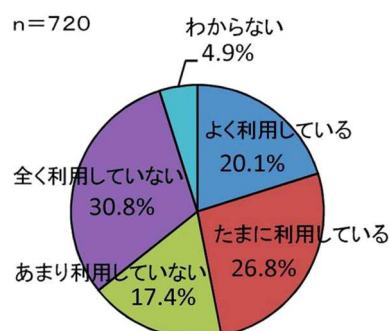
◆ アンケート結果 ◆

（1）決まった日曜日のみ利用可能な行政区や市民団体のコンテナ回収を利用していますか？

コンテナ回収は、実施地区ごとに日時・場所を決めて資源物や有害物を持ち込み、コンテナごとに分別して回収する集団回収の一種です。アンケート結果は「全く利用していない」51.6%がもっとも多く、「あまり利用していない」13.8%と合わせた65.4%は、「よく利用している」16.4%と「たまに利用している」11.3%を合わせた27.7%の約2.4倍であり、「わからない」は7.0%でした。



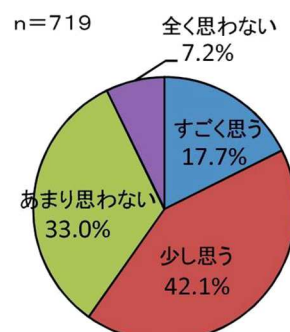
（2）いつでも利用可能な民間の無料回収ボックスを利用していますか？



新聞・雑誌・ダンボールなど古紙の回収は、最近では民間事業者による拠点回収が目立つようになりました。アンケート結果は「全く利用していない」30.8%がもっとも多く、「あまり利用していない」17.4%と合わせた48.2%は、「たまに利用している」26.8%と「よく利用している」20.1%を合わせた46.9%とほぼ同数であり、「わからない」は4.9%でした。

（3）生ごみを利活用したいと思いませんか？

ごみをゼロにする取り組みで有名な徳島県上勝町では、町民の協力でコンポストもしくは電動生ゴミ処理機の普及率が98%に達し、残りの家庭では直接、畑などを利用して堆肥にしています。アンケート結果は「少し思う」42.1%がもっとも多く、「すごく思う」17.7%と合わせた59.8%が、「あまり思わない」33.0%と「全く思わない」7.2%を合わせた40.2%の約1.5倍でした。



◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市における一般廃棄物のリサイクル率

リサイクル率は10%台で、減少傾向にあります。

	H25	H26	H27	H28	H25～H28 増加率(%)
ごみ総排出量(t)	17,496	17,692	17,545	17,597	0.58
焼却による減量(t)	13,226	13,558	13,455	13,597	2.81
最終処分量(t)	2,113	2,081	2,056	2,094	-0.90
総資源化量(t)	2,157	2,053	2,034	1,906	-11.64
リサイクル率(%)	12.3	11.6	11.6	10.8	-12.14

参考: 玉名市資料

(2) 玉名市におけるプラスチック類のリサイクル状況

玉名・横島・天水地区で収集されたプラスチック類は、すべて玉名リサイクルプラザに搬入され、9割以上がボイラー燃料としてリサイクルされています。ただし、東部環境センターへ直線搬入された分については不明です。

(株)玉名リサイクルプラザにおける中間処理

搬入されたプラスチック 93,200t(平成29年度)の内訳

・廃プラスチック : 86,680t(93.0%)	}	宇部興産でボイラー燃料(固形燃料)へリサイクル
・ビニール(RPF) : 2,920t(3.1%)		
・硬質プラスチック : 610t(0.7%)		
・残渣 : 2,990t(3.2%)		

参考: 玉名市資料

(3) 玉名市における家庭用廃食用油回収に協力している企業、BDFを利用している企業

市内では4社がBDFを利用しています。また、家庭用廃食用油回収に協力している企業等は市内に9か所あります。

・BDF・・・Bio Diesel Fuelの略で、油糧作物(なたね、ひまわり、パーム)や廃食用油といった油脂を原料として製造する軽油代替燃料。

BDFを利用している企業等	家庭廃食用油回収に協力している企業等
(株)玉名リサイクルプラザ (有)本田産業 (株)丸光商事 (株)マルコ建設	有明石油(株)、オイルショップクロダ(有) (有)城戸石油、kome & craft「こめ屋」 シロヤクリーニング玉名中店 せざきクリーニング、津川クリーニング商会 (有)村田自動車、(株)吉田林蔵商店

参考: 熊本県立県環境推進課HP(平成30年11月現在)

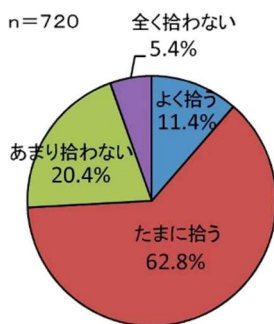
第3節 不法投棄について

不法投棄は大きく分けて、大規模な産業廃棄物の投棄事案と、空き缶、家庭ごみ、電化製品、自転車などの小規模な投棄事案があります。ここでは、ごみに関する意識や自動販売機の設置、警察による廃棄物事犯の送致、市で収集しないゴミについて報告します。

- ・産業廃棄物・・・事業活動に伴って生じた燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチックなどの廃棄物。

◆ アンケート結果 ◆

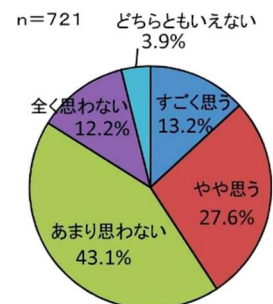
(1) 見つけたごみを拾うことはありますか？



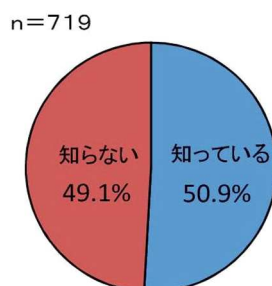
ごみは景観を損なうだけでなく、さらなるごみ投棄の誘発、腐敗等による衛生的な悪影響を引き起こします。アンケート結果は「たまに拾う」62.8%がもっとも多く、「よく拾う」11.4%と合わせた74.2%は、「あまり拾わない」20.4%と「全く拾わない」5.4%を合わせた25.8%の約2.9倍でした。

(2) 身近な場所に自動販売機があった方がよいですか？

自販機自主ガイドライン（全国清涼飲料連合会）では、環境美化のために使用済み容器回収ボックスの設置・管理が定められています。アンケート結果は「あまり思わない」43.1%がもっとも多く、「全く思わない」12.2%と合わせた55.3%は、「やや思う」27.6%と「すごく思う」13.2%を合わせた40.8%の約1.4倍であり、「わからない」は3.9%でした。



(3) プラスチックは分解されるのに数百年かかることを知っていますか？



特に近年、海水中に漂うマイクロプラスチック（5mm以下の微細なプラスチック）が生態系に与える影響が問題になっています。ダボス会議2016報告書によると、海のプラスチックの量は2050年までには魚の量を上回る計算（重量ベース）です。アンケート結果は「知っている」50.9%は、「知らない」49.1%とほぼ同数でした。

◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市における清涼飲料自動販売機の設置数

市町村ごとの普及台数が公表されていないため、全国の普及台数から人口割で推計したところ、市内の設置台数は1千台強となりました。

清涼飲料自動販売機の普及台数

以下の計算式により推計する。

$$\begin{aligned}
 & \text{玉名市の清涼飲料自動販売機の普及台数(平成29年現在)} \\
 & = \text{全国の清涼飲料自動販売機の普及台数} \times \text{玉名市の人口} \div \text{日本の人口} \\
 & = 2,130,000(\text{台}) \times 66,782(\text{人}) \div 127,095,000(\text{人}) \\
 & \approx 1,119(\text{台})
 \end{aligned}$$

参考：日本自動販売システム機械工業会HP

(2) 玉名警察署管内における不法投棄・焼却禁止違反の送致数

玉名署管内（玉名市、南関町、和水町、玉東町）での不法投棄の送致数は、平均すると年間1件以下です。また、焼却禁止違反の送致件数は、一般廃棄物で年間平均4件程度です。

・送致数・・・犯人を特定（検挙）し、検察所に移送した数。

単位：件

違反態様	H25	H26	H27	H28	H29	平均
一般廃棄物の不法投棄	2	0	0	1	0	0.6
産業廃棄物の不法投棄	0	0	1	1	0	0.4
一般廃棄物の焼却禁止違反	4	4	9	1	3	4.2
産業廃棄物の焼却禁止違反	2	1	0	1	0	0.8

参考：玉名警察署資料

(3) 玉名市で収集しない（できない）ごみの処分方法

家電リサイクル品及びパソコンは、特別法に基づく処理が必要となります。その他、東部環境センターやクリーンパークファイブで処理できないごみについては、市で収集を行っておらず、産廃業者等へ処理を依頼する必要があります。

家電リサイクル品	その他
テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン	岩、医療系廃棄物、FRP強化プラスチック、化学薬品、ガスボンベ(LPG)、瓦、金庫(耐火金庫)、コンクリート(製品屑)、砂利・土砂、焼却灰、スレート、タイヤ、タイル、廃油、農機具類・農業用ビニール・農薬容器、レンガ、フロンガス使用の家庭用電化製品など
パソコン	
パソコン本体、パソコンディスプレイ、ノート型パソコンなど	

参考：玉名市「ごみ・資源収集カレンダー」

第4章 生活環境に関する事項

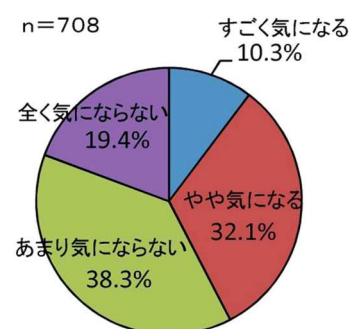
第1節 公害について

公害は、事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下及び悪臭によって、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずることです。ここでは、公害苦情、工場や事業所からの騒音・振動・悪臭、農業機械、自動車騒音、PM2.5について報告します。

◆ アンケート結果 ◆

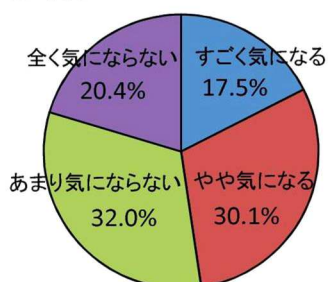
(1) 工場や事業所からの騒音や振動が気になることはありますか？

騒音規制法や振動規制法は、工場及び事業場における事業活動並びに建設工事に伴って発生する相当範囲にわたる騒音や振動について必要な規制を行うことを定めています。アンケート結果は「あまり気にならない」38.3%がもっとも多く、「全く気にならない」19.4%と合わせた57.7%は、「やや気になる」32.1%と「すごく気になる」10.3%を合わせた42.4%の約1.4倍でした。



(2) 工場や事業所からの悪臭が気になることはありますか？

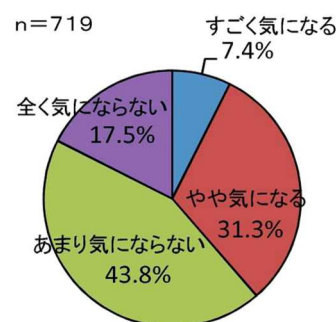
n=707



悪臭防止法は、規制地域内の工場・事業場の事業活動に伴って発生する悪臭について必要な規制を行うことを定めています。アンケート結果は「あまり気にならない」32.0%がもっとも多く、「全く気にならない」20.4%と合わせた52.4%は、「やや気になる」30.1%と「すごく気になる」17.5%を合わせた47.6%の約1.1倍でした。

(3) 農業機械などの騒音が気になることはありますか？

農業機械から発生する騒音や振動は、騒音規制法や振動規制法の規制対象外ですが、中には騒音レベルが100dB(A)を超える大きな騒音を発生する機械もあります。アンケート結果は「あまり気にならない」43.8%がもっとも多く、「全く気にならない」17.5%と合わせた61.3%は、「やや気になる」31.3%と「すごく気になる」7.4%を合わせた38.7%の約1.5倍でした。



◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市における公害苦情処理状況

水質に関する公害は油の流出事故や魚類の斃死が多くなっています。その他として、空き家や空き地の増加に伴い、雑草や樹木に関する苦情が近年増えています。

単位：件

	大気	水質	騒音	地盤沈下	悪臭	その他	合計
H27	1	12	4	0	0	1	18
H28	3	9	1	0	1	20	34
H29	2	8	6	0	3	33	52
平均	2.0	9.7	3.7	0.0	1.3	18.0	34.7

参考：玉名市資料

(2) 玉名市における自動車交通騒音調査の結果（面的評価）

本市における自動車交通騒音調査の対象路線は2車線以上の国道と県道です。調査結果は概ね良好ですが、一般国道の一部で基準値を超えています。

・主要地方道・・・国土交通大臣が指定するその地域で主要な役割を担う県道。

路線種別	評価区間の延長(km)	評価対象戸数(戸)	昼夜とも基準値以下(戸)	昼のみ基準値以下(戸)	夜のみ基準値以下(戸)	昼夜とも基準値超過(戸)
一般国道	15.8	728	706	0	0	22
主要地方道	14.3	496	496	0	0	0
一般県道	12.0	613	613	0	0	0
合計	42.1	1,837	1,815	0	0	22

参考：熊本県「大気・化学物質・騒音等環境調査報告書」

(3) 玉名市における微小粒子状物質（PM2.5）測定結果の経年変化

PM2.5の環境基準は、年平均値の長期基準と日平均値の年間98%値の短期基準の両面から評価します。近年は環境基準を達成しています。

・日平均値の年間98%値・・・1年間に測定されたすべての日平均値（欠測日を除く）を、値の低い方から高い方に順（昇順）に並べたとき、低い方（最低値）から数えて98%目に該当する日平均値。

	H26	H27	H28	H29	H26～H29 増加率(%)
年平均値(μg/m ³)	17.4	15.4	14.3	12.0	-31.0
長期基準の評価(15以下)	非達成	非達成	達成	達成	—
日平均値の年間98%値(μg/m ³)	41.0	32.7	30.3	28.6	-30.2
短期基準の評価(35以下)	非達成	達成	達成	達成	—
環境基準の評価(長短両方達成)	非達成	非達成	達成	達成	—

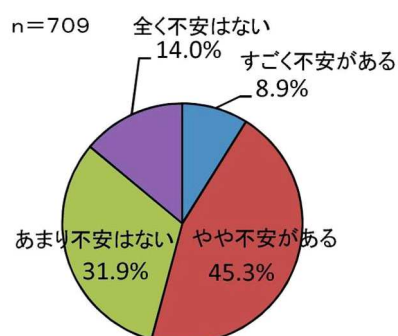
参考：熊本県「大気・化学物質・騒音等環境調査報告書」

第2節 有害物質について

人や環境にとって有害な化学物質については、製造・輸入から使用、廃棄に至るまでそのリスクに応じた規制を行っていくことが義務づけられています。ここでは、井戸水、除草剤、無農薬農産物、河川、農業者の取り組みについて報告します。

◆ アンケート結果 ◆

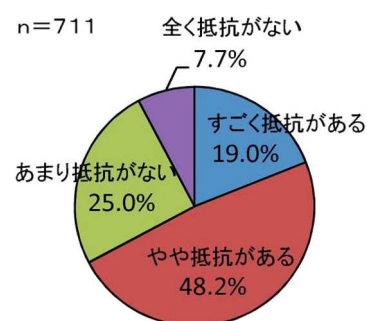
(1) 井戸水を利用することに不安はありますか？



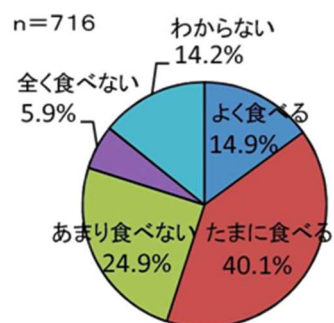
農地に散布された窒素肥料などが変化して硝酸性窒素は、乳児の胃などではその一部が還元されて亜硝酸性窒素となり、酸素欠乏症を引き起こします。アンケート結果は「やや不安がある」45.3%がもっとも多く、「すごく不安がある」8.9%と合わせた54.2%は、「あまり不安がない」31.9%と「全く不安がない」14.0%を合わせた45.9%の約1.2倍でした。

(2) 除草剤を使用することに心理的抵抗はありますか？

グリホサートは除草剤として、一年生雑草、多年生雑草、雑灌木まで幅広く雑草管理に使用されています。アンケート結果は「やや抵抗がある」48.2%がもっとも多く、「すごく抵抗がある」19.0%と合わせた67.2%は、「あまり抵抗がない」25.0%と「全く抵抗がない」7.7%を合わせた32.7%の約2.1倍でした。



(3) 無農薬の米や野菜を食べていますか？



特別栽培農産物に係る表示ガイドライン（農林水産省）によると、農薬を使用していない農産物は「無農薬」ではなく、「農薬：栽培期間中不使用」と表示することになっています。アンケート結果は「たまに食べる」40.1%がもっとも多く、「よく食べる」14.9%と合わせた55.0%は、「あまり食べない」24.9%と「全く食べない」5.9%を合わせた30.8%の約1.8倍であり、「わからない」は14.2%でした。

◆ 資料調査結果 ◆

(1) 玉名市における地下水質環境基準超過地点

市内の観測点8か所における平成29年度調査では、玉名市中の観測点でふっ素が環境基準を超過しています。

項目	滑石 (雑用)	中 (雑用)	岱明町浜田 (雑用)	岱明町上 (飲用)	横島町横島 (飲用)	天水町小天 (飲用)
ふっ素	0.27	5.90	<0.08	<0.08	0.39	0.15
環境基準の評価(0.8以下)	○	×超過	○	○	○	○
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.02	3.20	1.80	4.00	0.09	2.60
環境基準の評価(10以下)	○	○	○	○	○	○

参考：熊本県「平成29年度水質調査報告書」

(2) 玉名市における菊池川の底質調査結果

近年は有害物質の濃度が低下してきています。なお、河川の底質には環境基準がありません。

単位：mg/kg

年度	カドミウム	シアン	鉛	砒素	総水銀	全クロム
S52	0.37	<0.5	6.79	1.04	0.00	2.08
S62	0.10	<0.5	6.50	1.10	<0.01	14.00
H9	0.14	<0.3	10.40	5.40	0.09	32.00
H19	0.03	<0.3	2.00	1.00	<0.01	10.00
H29	<0.05	<1	4.00	1.20	<0.01	11.00

参考：熊本県「平成29年度水質調査報告書」

(3) 玉名市における環境保全型農業直接支払交付金の交付実績、グリーン農業生産者登録数

環境保全型農業直接交付金の実績はわずかです。また、グリーン農業の登録数は、化学肥料・化学合成農薬ともに使わないJAS法有機農産物が2件、有作くん100が11件です。

・環境保全型農業直接交付金・・・化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する国の交付金。

環境保全型農業				グリーン農業(H30.11現在)	
農林水産省の環境保全型農業直接交付金				JAS法有機農産物：2件	
(H27)	(H28)	(H29)	(国に登録された組織から認定され、作付け2年以上前から化学肥料、化学合成農薬を全く使っていない。)		
件数： 2件	2件	1件	有作くん100(熊本型特別栽培農産物)：11件		
面積： 426a	426a	110a	(県の認証を受け、化学肥料、化学合成農薬とも栽培期間中不使用。)		

参考：玉名市資料

参考：熊本県「くまもとグリーン農業HP」

第3節 ヒートアイランド現象について

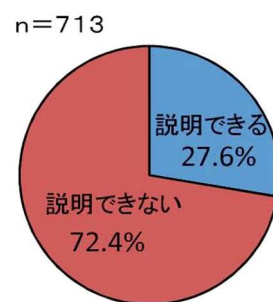
ヒートアイランド現象は、人間活動が原因で気温の上昇をもたらすという点が共通するため、地球温暖化と混同されることがあります。ここでは、ヒートアイランド現象に関する意識、人口密度、緑地、街路樹について報告します。

ヒートアイランド現象・・・人工的な構造物や排熱を要因として気温が上昇する現象で、その広がりには都市を中心として限定的。

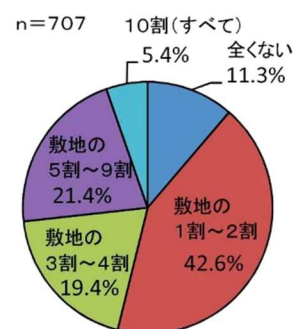
◆ アンケート結果 ◆

(1) ヒートアイランド現象と地球温暖化の違いを説明できますか？

ヒートアイランド現象は、人工的な構造物や排熱を要因として気温が上昇する現象で、その広がりには都市を中心とした限定的なものです。一方、地球温暖化は、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることを要因として気温が上昇する現象で、その広がりには地球規模です。アンケート結果は「説明できない」72.4%は、「説明できる」27.6%の約2.6倍でした。



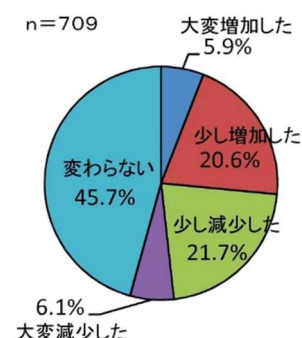
(2) 建物部分を除く自宅敷地は、どのくらいコンクリート、アスファルト、砂利などで覆われていますか？



ヒートアイランド現象の主な原因の一つに地表面被覆の人工化があり、敷地のアスファルトやコンクリートの増加による日中表面温度の高温化と蓄熱が影響を与えています。アンケート結果は「敷地の1割～2割」42.6%がもっとも多く、「敷地の5割～9割」21.4%、「敷地の3割～4割」19.4%、「全くない」11.3%、「10割(すべて)」5.4%でした。

(3) 自宅敷地の庭木は5年前と比べてどう変化しましたか？

緑は、日射の遮断や蒸発散作用等により気温の上昇を抑える機能を有し、ヒートアイランド現象の緩和に効果を発揮するといわれています。アンケート結果は「変わらない」45.7%がもっとも多く、「少し減少した」21.7%と「大変減少した」6.1%を合わせた27.8%は、「少し増加した」20.6%と「大変増加した」5.9%を合わせた26.5%とほぼ同数でした。



◆ 資料調査結果 ◆

(1) 旧小学校区ごとの人口密度

玉名町がもっとも多い 19.7 人/ha、三ツ川がもっとも少ない 0.91 人/ha でした。

旧小学校区ごと人口密度(人/ha)ランキング			
1位 玉名町:19.7	7位 滑石:5.3	13位 横島:3.09	19位 石貫:1.4
2位 築山:10.0	8位 睦合:5.3	14位 玉水:3.07	20位 月瀬:0.93
3位 高道:7.0	9位 玉名:4.9	15位 八嘉:2.9	21位 三ツ川:0.91
4位 大野:6.5	10位 大浜:3.9	16位 小田:2.6	
5位 伊倉:6.0	11位 豊水:3.5	17位 梅林:1.9	
6位 鍋:5.6	12位 小天:3.4	18位 小天東:1.5	

参考:玉名市資料(平成30年1月現在)

(2) 旧小学校区ごとの緑地(田、畑、山林)面積

小天東がもっとも多い 82.1%、玉名町がもっとも少ない 32.9% でした。

旧小学校区ごと田・畑・山林が占める面積割合(%)ランキング			
1位 小天東:82.1	7位 梅林:71.1	13位 高道:67.2	19位 大野:61.0
2位 三ツ川:81.7	8位 小田:70.8	14位 鍋:67.1	20位 玉名:55.6
3位 玉水:76.9	9位 睦合:70.7	15位 伊倉:65.0	21位 玉名町:32.9
4位 八嘉:74.8	10位 大浜:70.1	16位 築山:64.1	
5位 横島:71.5	11位 小天:69.6	17位 月瀬:62.4	
6位 豊水:71.3	12位 石貫:67.4	18位 滑石:61.9	

参考:玉名市資料(平成30年1月現在)

(3) 玉名市における都市計画道路の街路樹

市道の中でも街路樹が整備されることのある都市計画道路(街路)の総延長に対し、約 13% に街路樹が整備されています。

- ・都市計画道路・・・市街地の道路条件を改善するためや、計画的な都市づくりのために、都市計画の一環としてつくる道路。

都市計画道路における街路樹の状況(H29年3月現在)	
都市計画道路の路線数	: 20路線
うち街路樹が整備されている路線数	: 5路線
都市計画道路の総整備延長	: 32.76km(市道の総延長 845km)
うち街路樹が整備されている総延長	: 4.20km
総整備延長に対する街路樹延長の割合	: 12.8%(市道総延長に対する割合 0.50%)

参考:玉名市資料

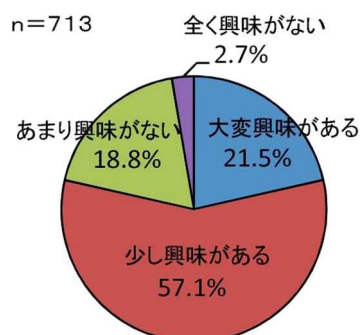
第5章 施策の基盤に関する事項

第1節 環境教育について

これからの環境教育では、単なる知識の習得や活動の実践にとどまらず、日々の取組の中に、持続可能な社会の構築に向けた概念を取り入れ、問題解決に必要な能力・態度を身に付けるための工夫を継続していくことが求められています。ここでは、環境教育に関する意識や実施状況、自然体験、こどもエコクラブについて報告します。

◆ アンケート結果 ◆

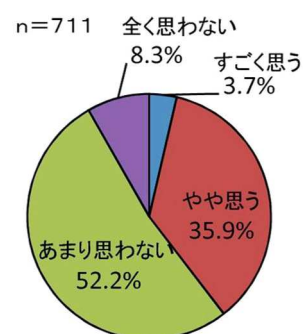
(1) 環境教育について興味はありますか？



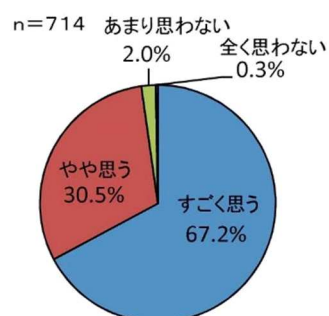
環境教育は、発達段階に応じて、学校のみならず、家庭、職場、地域といったあらゆる場で実践されるものです。アンケート結果は「少し興味がある」57.1%がもっとも多く、「大変興味がある」21.5%と合わせた78.6%は、「あまり興味がない」18.8%と「全く興味がない」2.7%を合わせた21.5%の約3.7倍でした。

(2) 現在の暮らしを維持しながら、将来世代の欲求も満たせる社会は実現できると思いますか？

豊かな自然環境を守り、私たちの子孫に引き継いでいくためには、エネルギーの効率的な利用など環境への負荷が少ない持続可能な社会を構築することが大切です。アンケート結果は「あまり思わない」52.2%がもっとも多く、「全く思わない」8.3%と合わせた60.5%は、「やや思う」35.9%と「すごく思う」3.7%を合わせた39.6%の約1.5倍でした。



(3) こどもは自然の中で遊ばせた方が良いと思いますか？

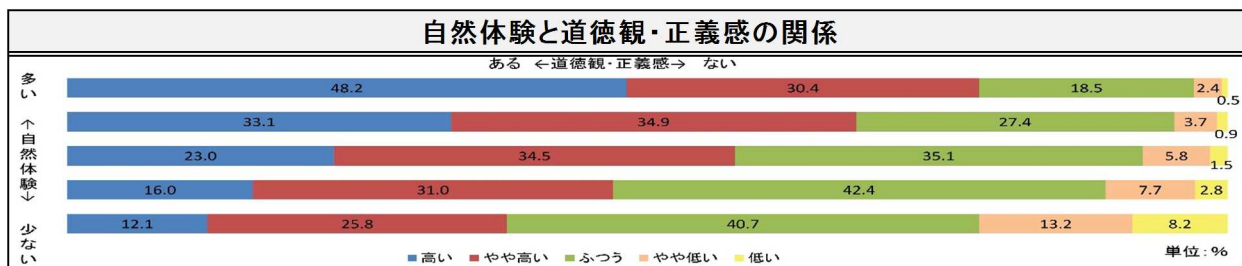


文部科学省への生涯学習審議会答申(平成11年6月)によると、自然体験が豊富な子どもほど、道德観・正義感が充実しているようです。アンケート結果は「すごく思う」67.2%がもっとも多く、「やや思う」30.5%と合わせた97.7%は、「あまり思わない」2.0%と「全く思わない」0.3%を合わせた2.3%の約42倍でした。

◆ 資料調査結果 ◆

(1) 自然体験がはぐくむ子どもの道徳観・正義感

自然体験が多い子どもの方が、少ない子どもよりも道徳観や正義感がある行動をとりやすい傾向があります。



参考: 国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査(平成26年度調査)」

(2) 玉名市における小中学校における環境教育の実施状況

クリーン活動がもっとも多い26校、次に、リサイクル活動25校、省エネルギー活動21校と続いています。植林活動やビオトープ活動などの自然との共生に関する活動は少ない傾向です。
・ビオトープ・・・生物群集の生息空間のこと。

平成28年度に小中学校が実施した活動(複数回答)ランキング

1位 クリーン活動:26校 (21.8%)	4位 農業体験:19校 (16.0%)	7位 その他:2校 (1.7%)
2位 リサイクル活動:25校 (21.0%)	5位 生物観察:17校 (14.3%)	8位 ビオトープ活動:1校 (0.8%)
3位 省エネルギー活動:21校 (17.6%)	6位 河川調査:8校 (6.7%)	9位 植林活動:0校 (0%)

参考: 玉名市教育委員会「環境教育実施状況調査(平成29年度)」

(3) 熊本県内におけるこどもエコクラブの登録クラブ・メンバーの状況

こどもエコクラブとは、幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。登録クラブ数では熊本市や八代市が多く、登録メンバー数では水俣市が多いです。なお、玉名市では登録実績がありません。

県内市町村における登録クラブ・メンバー数

熊本市:6団体(335人)	宇土市:3団体(191人)	益城町:2団体(63人)
八代市:8団体(86人)	上天草市:1団体(21人)	芦北町:1団体(14人)
水俣市:2団体(661人)	天草市:2団体(23人)	玉名市:0団体(0人)

参考: こどもエコクラブ全国事務局資料(平成30年10月現在)

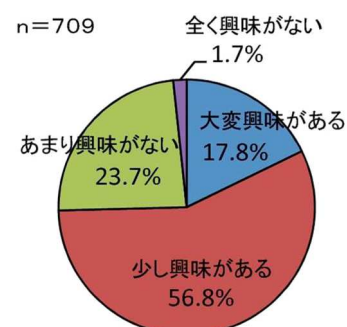
第2節 環境保全活動について

気候変動対策、循環型社会の形成、生物多様性の保全をはじめとする環境問題は、自発的な取組を必要としています。法にいう環境保全活動は、これらの課題に自発的に手足を動かして取り組んでいこうとする活動です。ここでは、環境保全活動に関する意識、市民と行政の役割分担、NPOバンク、市内の団体について報告します。

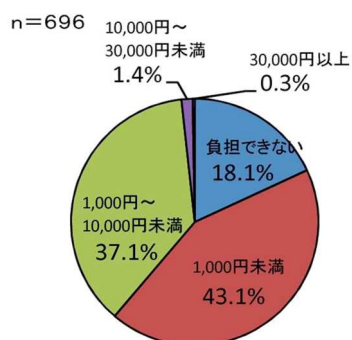
◆ アンケート結果 ◆

(1) 環境保全活動に関心はありますか？

持続可能な社会を構築するためには、あらゆる主体が自主的・積極的に環境保全活動に取り組むことが重要です。アンケート結果は「少し興味がある」56.8%がもっとも多く、「大変興味がある」17.8%と合わせた74.6%は、「あまり興味がない」23.7%と「全く興味がない」1.7%を合わせた25.4%の約2.9倍でした。



(2) 環境保全活動の費用を年間いくらまでなら負担できますか？

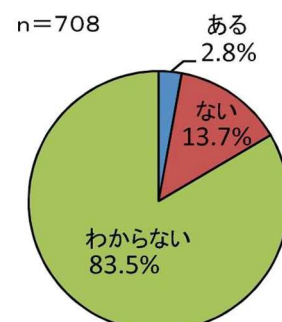


環境保全コストは、「多ければ良い」とか「少なければ悪い」といった単純な見方ではなく、環境保全効果や様々な条件との関係で判断されるべきものです(環境省「環境会計ガイドライン」)。アンケート結果は「1,000円未満」43.1%がもっとも多く、「1,000円～10,000円未満」37.1%、「負担できない」18.1%、「10,000円～30,000円未満」1.4%、「30,000円以上」0.3%でした。

(3) 玉名に応援したい環境保全団体はありますか？

環境保全団体とは、地球環境保全、公害の防止、生物の多様性の保全等の自然環境の保護及び整備、循環型社会の形成その他の環境の保全を主たる目的として自発的に活動を行う団体をいいます。アンケート結果は「わからない」83.5%がもっとも多く、「ない」13.7%は、「ある」2.8%の約4.9倍でした。

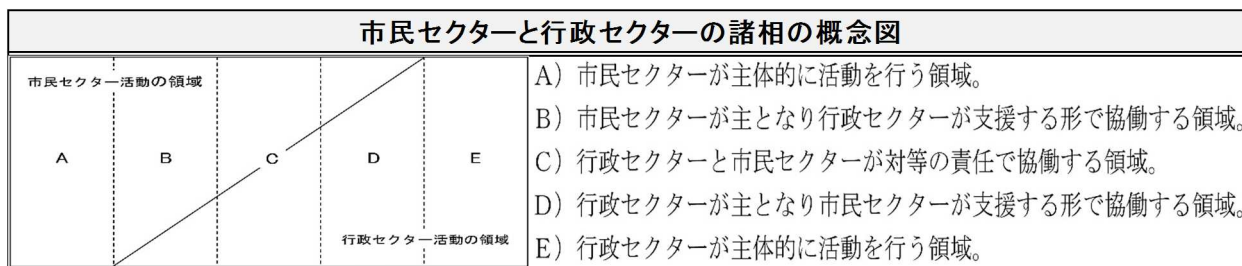
応援したい団体が多かったのは、エコの環たまな(2件)、グリーンコープ(2件)などです。



◆ 資料調査結果 ◆

(1) 市民セクターと行政セクターの活動領域

市民セクターが主体的に活動する領域（A）と、行政セクターが主体的に活動する領域（E）と、その両者の中間領域（B、C、D）が存在している。お互いの守備範囲と領域をきちんと設定し、それぞれの特性と能力に応じた役割分担が必要となる。



参考：世古一穂『協働のデザイン』（学芸出版社）

(2) 全国のNPOバンクの現状

玉名市においても利用可能なNPOバンクは6つあります。これまでの融資額はほとんどのバンクが1億を超えています。

- ・NPOバンク・・・地域社会や福祉、環境保全のための活動を行うNPOや市民団体、個人などに融資することを目的として設立された小規模の非営利バンク。

融資可能なNPOバンクとこれまでの融資額累計（平成29年3月現在）

未来バンク事業組合	1,186,823千円（金利：1.7%、上限：300万円、最長5年）
（特非）北海道NPOバンク	374,170千円（金利：2～5%、上限：200万円、最長2年）
コミュニティ・ユース・バンクmomo	144,140千円（金利：2.5%、上限：500万円、最長3年）
天然住宅バンク	103,704千円（金利：0～2.0%、上限：300万円、最長10年）
もやいバンク福岡	39,320千円（金利：1.5～3.0%、上限：300万円、最長5年）
公益財団法人信頼資本財団	96,570千円（金利：0%、上限：300万円、最長2年）

参考：全国NPOバンク連絡会HP

(3) 玉名市における環境保全活動団体

全部で16団体が登録されています。

- ・「たまりん」・・・玉名市が運営する市民活動情報サイト。

「たまりん」に登録されている環境保全活動団体（平成30年10月現在）

ボーイスカウト熊本県連盟玉名第4団	たまなマイ・バッグ推進連絡協議会
大浜の松原復元を実現しよう壮年の会	菊池川水域のやさしい自然と豊かな心を育むつくしの会
岱明じゃんじゃん会	NPO法人明るい社会づくり玉名
郷〇市	繁根木川を美しくする会
真の家庭運動推進熊本協議会城北支部	特定非営利活動法人ふくろうネット
（社）玉名青年会議所	玉名のゴミを考える会
ちゃぶ台	（社）ガールスカウト熊本県第11団
高瀬裏川筋を愛する会	ボーイスカウト熊本県連盟玉名第6団

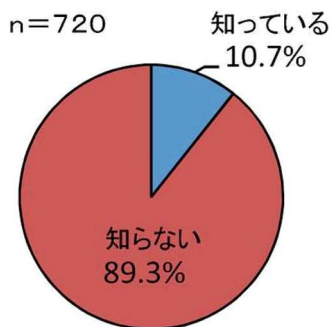
参考：たまな市民活動支援サイト「たまりん」

第3節 環境基本計画について

市長は、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境の保全及び創造に関する基本的な計画（環境基本計画）を策定します（市環境基本条例第8条）また、市長は、施策の策定及び実施に当たっては、環境基本計画との整合性を図り、環境への負荷が低減されるよう十分配慮しなければなりません（同条例第9条）。ここでは、認知度、市民参画、策定メンバー、アンケート概況について報告します。

◆ アンケート結果 ◆

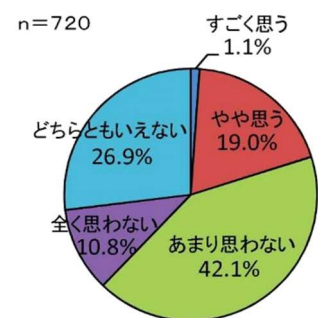
（1）玉名市環境基本計画のことを知っていましたか？



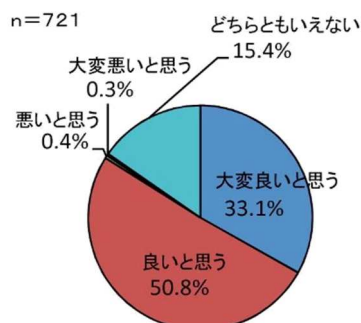
玉名市環境基本計画は玉名市環境基本条例に基づき平成26年3月に策定され、平成26年4月から平成31年3月までが計画期間です。現在、平成31年4月から運用する新たな計画の策定作業を進めています。アンケート結果は「知らない」89.3%は、「知っている」10.7%の約8.3倍でした。

（2）玉名市環境基本計画の策定に参加してみたいと思いますか？

新たな玉名市環境基本計画では、市民の意見を反映させた計画づくりを徹底するため、策定メンバーを公募しています。アンケート結果は「あまり思わない」42.1%がもっとも多く、「全く思わない」10.8%と合わせた52.9%は、「やや思う」19.0%と「すごく思う」1.1%を合わせた20.1%の約2.6倍でした。



（3）このアンケートのように、広く住民意見を聴くことについてどう思いますか？



このアンケートは、計画策定のためのワークショップに参加することができない市民の意見について、広くお尋ねするために実施しました。アンケート結果は「良いと思う」50.8%がもっとも多く、「大変良いと思う」33.1%と合わせた83.9%は、「悪いと思う」0.4%と「大変悪いと思う」0.3%を合わせた0.7%の約120倍であり、「どちらともいえない」は15.4%でした。

◆ 資料調査結果 ◆

(1) 現在までの市民参画の状況

計画策定メンバーを公募し、計画策定会議をこれまで4回開催しています。また、10月には、無作為抽出による市民1,500人を対象としたアンケートを実施しました。

- ・計画策定メンバー・・・6月から公募している環境基本計画策定会議の参加者。報酬はなく、市民なら誰でも参加できるが、事前登録が必要。

これまでに実施した市民参画プロセス(平成30年11月現在)

平成30年6月1日(金)～	計画策定メンバー募集開始(市HP掲載、広報たまな7月号掲載)
平成30年6月19日(火)19:00～19:50	文化センター視聴覚室 エコたまワークショップ(14人)→市HP報告
平成30年8月9日(木)18:30～20:30	文化センター和室 第1回計画策定会議(4人)→市HP報告
平成30年8月16日(木)19:00～21:00	文化センター第2研修室 第2回計画策定会議(6人)→市HP報告
平成30年8月23日(木)19:00～21:00	文化センター和室 第3回計画策定会議(3人)→市HP報告
平成30年8月30日(木)19:00～21:20	文化センター視聴覚室 第4回計画策定会議(5人)→市HP報告
平成30年10月1日(月)～10月15日(月)	玉名市の環境に関する市民アンケート(1,500人)→市HP報告

参考:玉名市資料

(2) 現在までの策定メンバーの状況

登録者数は9人で男性が多く、計画策定会議への延参加者数は18人でした。参加可能な時間帯は平日夜がもっとも多く、託児室の利用希望はありませんでした。登録者の職業等は様々です。

計画策定メンバーの概況(平成30年11月現在)

現在までの登録者数	: 9人(男性:7人、女性:2人)
参加可能な時間帯	: 平日昼3人、平日夜7人、土日4人 → これまでの開催は平日夜4回
託児室の利用希望	: 希望する0人、希望しない9人
計画策定会議(ワークショップ)への延参加者数	: 18人(4回の合計)
登録者属性	: 高校教師、自然観察会主宰、森の用務員、樹木医、温暖化防止活動推進員、うちエコ診断員、自由業、NPO代表、会社員、子育て支援センター職員、元グラフィックデザイナー、農業、漁協理事 etc.

参考:玉名市資料

(3) 環境に関するアンケート回答率分析

市内在住の20歳以上80歳未満の無作為抽出による市民1,500人を対象者とし、50%近い回答率が得られました。回答者の属性は性別では女性、年代では60代の割合が多く、自由意見総数は167件でした。

玉名市の環境に関するアンケートの概況

対象者	: 市内在住の20歳以上80歳未満の市民1,500人(無作為抽出)
実施日	: 平成30年10月1日～平成30年10月15日
回収数・回収率	: 配布1,500通、回収数728通、回収率48.5%
回答者属性	: 男性42%(回答率41.1%)、女性58%(回答率55.1%) 20代6.9%、30代10.4%、40代15.6%、50代19.1%、60代27.1%、70代20.9%
自由意見	: 167件(環境に関すること77件、全般的なこと39件、その他に関すること51件)

参考:玉名市資料